

深礎フレームの設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2 / (旧基準)

静的フレーム法による固有周期(水平震度)、
上部構造部分の重量(分担重量)を算出

●H29道示対応

Advanced
¥627,000
(税抜 ¥570,000)

Standard
¥517,000
(税抜 ¥470,000)

Lite
¥440,000
(税抜 ¥400,000)

●旧基準

Advanced
¥438,900
(税抜 ¥399,000)

Standard
¥361,900
(税抜 ¥329,000)

Lite
¥308,000
(税抜 ¥280,000)

サブスクリプション価格
P.122~123参照
UC-1エンジニアスイート
P.31~32参照

Windows 8/10 対応

3DA対応

計算・CAD統合

3D配筋対応

電子納品 SXF3.1

IFC 3D PDF

有償セミナー

静的フレーム法により固有周期(水平震度)と当該下部構造が支持している上部構造部分の重量(分担重量)を求めるプログラムです。
複数振動系を有する橋梁でも、振動単位ごとの固有周期と分担重量を算定します。一基下部構造、固有値解析、任意形状の固有周期算定機能をサポートしています。下部構造は、UC-1下部工製品のデータを連動でき、効率的な下部工の設計を支援します。

機能	Advanced	Standard	Lite
柱状体深礎基礎	○	○	○
組杭深礎基礎	○	○	○
安定照査(永続・変動・偶発作用時)	○	○	○
底版照査(永続・変動・偶発作用時)	○	○	○
骨組み自動生成機能	○	○	○
荷重自動生成機能	○	○	○
CAD機能(3D配筋機能含む)	○	○	○
小判形状の杭	○	○	—
ライナープレート+ モルタルライニング混合土留め工	○	○	—
立体解析による荷重分担率算定(通常版)	○	○	—
立体解析による荷重分担率算定(拡張版)	○	—	—

【計算機能】

- 深礎基礎の計算: 地盤抵抗に支持された面内・面外ラーメン骨組として計算
- 杭列に対して面内解析、面外解析が可能
- 杭地中部の任意荷重、杭体突出部の土圧力の荷重
- 立体モデルによる荷重分担率算出
- 柱とフーチングの構造寸法の設定に対応。柱形状は、矩形・円形・小判形に対応
- 構造寸法から骨組みモデル、柱基部作用力と荷重分担率から荷重を自動生成
- 下部工製品(橋台、橋脚)とのデータ連動が可能

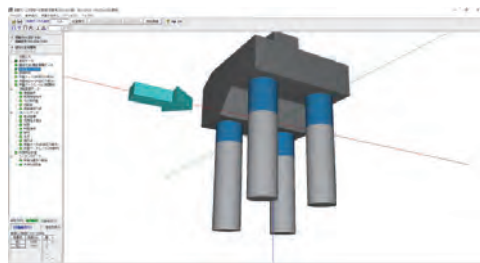
【地盤条件】

- 土質区分: 「土砂および軟岩」「硬岩」
- 直線地層線、折線地層線の入力方式が可能

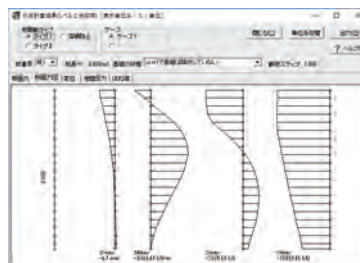
【図面作成】

- 柱状体基礎、組杭深礎基礎およびフーチングの配筋図、一般図、3D配筋生成に対応
- 配筋図: SXF(SFC/P21)、DXF/DWG、JWW/JWC形式のファイル出力に対応
- 3D配筋: 3DS、IFC、Allplan形式のファイル出力に対応

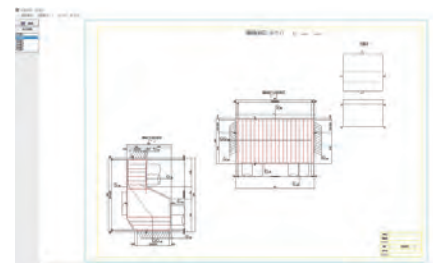
▼混合土留め



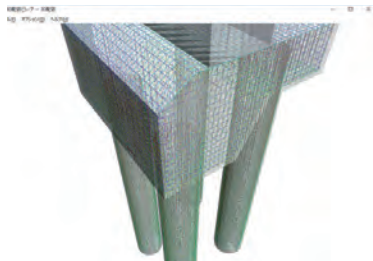
▼レベル2杭体断面力図



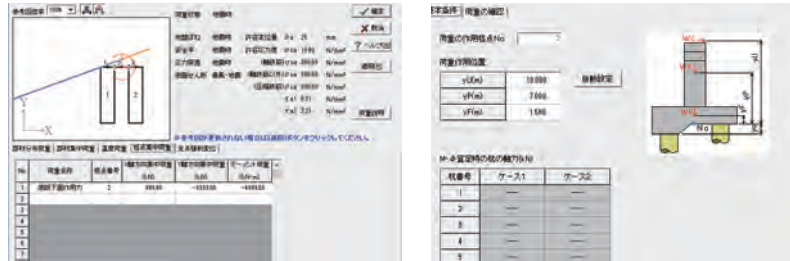
▼図面編集画面



▼3D配筋



▼荷重ケース(許容応力度法:左、レベル2地震時:右)(H29)



部分係数法・H29道示対応

- 永続作用、変動作用、偶発作用時の照査に対応
- フーチングは、片持ち梁としての照査と骨組み解析した照査に対応
- 基礎ばね、杭のM-φ曲線、すべり角αの自動計算
- 杭形状は、円形と小判に対応
- 下部工製品(橋台、橋脚のH29道示対応版)とのデータ連動が可能
- 杭本体及び底版のCAD機能(3D配筋表示含む)に対応

●Ver.3 開発予定: 「斜面上の深礎基礎設計施工便覧(平成24年4月)」の面内平面ラーメンモデルによる分担計算に対応 / 「杭基礎設計便覧」改定対応

旧基準

【計算機能】

- 杭頭接合部の設計が可能。杭とフーチングの接合部は剛接合として設計、杭頭部に作用する押込み力、引抜き力、水平力、モーメントに対して安全性を照査
- 常時・レベル1地震時(震度法)、レベル2地震時(保有水平耐力法)による設計、レベル1、レベル2フーチングの設計に対応

【地盤条件】

- 上載荷重、土圧力を考慮